地域版 奄美

大島支局
名瀬市柳町12-16
☎0997-53-6499
通信部
名瀬
瀬戸内
徳之島
沖永良部

工事ニュース、団体・企業ニュース、催し物などは支局、通信部へご連絡ください。

諸田、母間団地建設

12月頃に発注予定

徳之島町

大島郡徳之島町は、諸田団地など3団地の建設を計画、12月頃に2団地の工事を発注する予定だ。

新規の諸田団地はRC造平屋建て1戸（76・6㎡）×2棟を12月頃に発注する予定。建て替えの母間団地はRC造2階建4戸（299・86㎡）×2棟も12月頃発注する計画。また、山団地はRC造平屋建て1戸（76・12㎡）×1棟を建て替える予定だが、発注時期は未定となっている。

3団地とも設計は既に修了。それぞれ、諸田団地と山団地が作山建築設計事務所、母間団地は徳永建築設計事務所が担当している。

徳之島町花徳小建替え

否決で着工未定に

請負議案

大島郡徳之島町は同町の花徳小学校の建て替えを計画しているが、6日の町臨時議会で本体工事請負契約（A－D工区）のうちA工区案に関し一部議員から「価格漏えい疑惑の噂」の指摘があり、当局側は否定したものの同1件は賛成少数で否決された。これにより着工時期は未定となった。

同小学校の現在の校舎は6棟（RC造平屋建て405㎡、同2階建314㎡、同平屋建て250㎡、同平屋建て238㎡、同平屋建て205㎡、同平屋建て60㎡）でそれぞれ建築されたもので老朽化が進んでいる。危険校舎認定を受け、RC造2階建延べ1972平方㍍1棟を建設することになっており、7月2日には本体工（A－D工区）、各設備等の入札が行われた。

町教育委員会は「A工区の結果次第だが、着工時期は未定」としている。

16年度経営倫理講演会

「明朗な心」が成功の源

奄美倫理法人会

奄美倫理法人会（肥後政幸会長）は5日、名瀬市の奄美観光ホテルで16年度経営倫理講演会を開き、事業経営者ら約100人が出席して正しい経営の在り方や心構えについて学んだ。

最初に登壇した㈲カワバタの川畑文夫社長は自らの倒産経験から「社長が迷ったり暗い表情をしていると会社全体に影響を及ぼす。自分の考えが会社を変えると信じて経営にあたることが大事」と説いた。続いて倫理研究所総務局広報部の中西康成部長が「日本をよくする経営道―明朗」と題して講演を行った。その中で中西氏は会社が倒産する要因ワースト10を紹介、最大の原因として経営者の高慢・過信を挙げた。氏は「思い上がれば向上心や学ぶ気持ちがなくなる。自分を卑下することも相手と比べている意味において同義。最もそういう自分の心に早く気付くこと」とした。また「明朗な心を持つことで人に好かれ直観力や判断力・決断力が高まる。人生も楽しくなるし、運を呼び込むことにもつながる」と話した。

会場を訪れた多くが事業経営者とあって出席者らは自らの責任の重さを実感しながら真剣に講演に聞き入っていた。

経営の在り方等を学んだ講演会
＝名瀬市の奄美観光ホテルで

兼久小でジュニアマイスター

ものづくりを手ほどき

県技能士会連合会

県及び県技能士会連合会（森山清隆会長）主催による「ジュニアマイスター教室」が6月30日、大島郡天城町の兼久小学校で開かれ、5・6年生36人がものづくりの楽しさを体験した。

同教室は子供たちが優秀な技能を持つ技能士とともにものづくりをすることで技術や楽しさを知る機会にと8年前から県内各地区で実施しているもので、大島地区も毎年1校を対象に開いている。

今回は森山会長をはじめ技能士9人と県商工労働部の畦元靖技術主査が同小学校を訪れた。児童らは3班に分かれ、担当技能士の指導でそれぞれアートクラフトタイルモザイクやフォトスタンド、色紙掛け作りを楽しんだ。ほとんどの児童が初めての経験だったが、予定していた2時間を休憩も取らずに夢中で取り組んでいた。

今回技能士として初めて参加した名瀬市の㈲奄美タイル工業の三腰次男社長は「子供たちの生き生きとした姿が印象的だった。今回の体験がきっかけになってものづくりに興味を持ってもらえれば」と話していた。

夢中で創作に取り組む児童
＝天城町の兼久小学校で

16年度建設技術者研修会

15日に名瀬市で

県土木部と県建設業協会主催による16年度建設技術者研修会は15日午前9時から、名瀬市の奄美建設会館で行われる。

インタビュー席

県建設業青年部会奄美支部長

安田 愛宏 氏

――設立から1年が経過、ご感想を

青年部会は15年4月1日に設立し2年目に入りました。設立に関しては以前より紆余曲折がありましたが、設立できたことは率直にうれしく思います。ただ設立まもないため、活動内容、会のとりまとめ、会のアピール等に頭を悩ませているのが実情でありますが、今後へつないでいくためにも頑張らねばという気持ちでいっぱいです。

――新支部長として抱負を

設立まもない当会を定着させるためにもわれわれ青年部会でしかできない活動（奉仕活動や地域への貢献作業等）を模索し、社会的な位置付けをある程度高めていきたい。奄美の特色としては会員は35社なのですが、大きく分けて五つの島から構成されていることが本土と大きく異なる点でしょうか。また会員の多くが名瀬市に集中しているため、各島々での取り組みにどうしても温度差が出てしまうことが考えられます。2年ごとに行う役員改選時の総会などは本島でやるにしても、理事会や懇親会等はできるだけ各離島で開き、金銭面や時間的な負担を分かち合うようにしたいと思います。

地場企業として

奉仕する建設サービス業に

――地方建設業の在り方についてどう思われますか

業界に吹く風はさらに冷たく厳しいものになっていますが、建設業は衰退はすれど消滅する業種ではありません。競争激化の中、各社しのぎを削り生き残りを模索している昨今ですが、地方においては世間の波にもまれても地場に生きづく企業は絶対に必要であると考えます。そのためにも、もちろん腰の強さは必要ですが、奉仕の精神を忘れず地域に貢献できる建設サービス業がわれわれの理想の将来像ではないでしょうか。

――今年度の活動内容は

会員の親睦及び奉仕活動等の地域への貢献、親会業務の補佐などを予定しています。今、血液センターと相談しながらJCや法人会青年部など他団体にも呼び掛けて献血活動を進める準備段階に入っています。また親会の方で毎年実施している大島工業高校現場実習を青年部会の取り組みとして受け入れようという案が出ております。若手育成は業界の大きな命題となっていますが、次世代を担う若手が業界に魅力を感じてもらえるように彼らの年齢に近い青年部のメンバーが行ったほうが、より親しみやすく理解してもらえるのではないかと考えたからです。それ以外にも青年部でしかできないこと、奄美独自の活動等を模索中です。

――会員へ一言

融和と団結を図り、楽しく活動できるようお互いに頑張りましょう。

略歴

昭和37年大島郡笠利町生まれ。平成5年6月日本電子開発㈱を退社、同年7月㈱安田組入社。平成15年10月、創業50年を機に代表取締役就任。名瀬市小浜町に妻と1男1女の4人住まい。41歳。

あのひと この人

アヌールインターナショナル・トラベル（東亜観光㈱）

村田 由紀さん

――仕事の内容は。

旅行部内でのカウンター業務、国内・海外旅行の予約・手配です。

――休日は何をして過ごしますか。

子供（3才と4才）を連れて公園に。これからは海ですね。

――今後の目標は。

一般旅行業務取扱主任者資格を来年取得することです。

――最近の出来事は。

念願のマイホーム㈱カナダブレイス旅工）が7月に着工します。

――近くのお薦めスポットは。

誰もいない崎原海岸。

――趣味は。

ずっとスキーが趣味だったのですが、奄美に来て以来6年間行ってません。今はバドミントンをするくらいですね。

（名瀬市）